

第71号 1963.5

精油化学最近の進歩（清水純夫）
 ピネン(VI)（印藤元一）
 バニラ物語（田村禎造）
 放射線と香料（木下商策）
 マルトールの化学（小野正夫）
 メンチルフェノールから香料の合成（松原義治・渡辺雄一・松本和男・千田忠弘）
 最近の食品添加物の効果的利用について（林敬一郎・以倉肇）
 月桂物語（石原活磨）
 ヨーロッパ巡り（五十幡巖）



第72号 1963.7

ソ連における精油植物の栽培（川谷豊彦）
 ピネン(V)ー最近の文献からー（印藤元一）
 はっか属精油の研究 第2報本邦産はっか属の精油について（中山孟郎・松川正行）
 寒地ハッカの栽培技術に関する調査研究（1）ハッカ作の経営経済と生産技術（笠野秀雄）
 世界における天然リナロールの給源について（手島龍雄）
 植物生体内におけるメチレンジオキシン環の生成様式（藤田安二）
 昭和38年度香料生産、輸出入統計表

第73号 1963.10

ダマスクばら（川谷豊彦）
 あすのにおい（平泉貞吉）
 匂を創造する方法（ジャンカール・訳 外山孟生・坂口啓一）
 水素炎イオン化検出器を用いるテルペンおよび香料成分のガスクロマトグラフィー
 （林修一・岩倉博之・松浦多聞）
 香料合成化学（堀口博）
 はっか属の問題(その8)（藤田安二）
 松根油の利用に関する研究(第5報)
 松根油の溶剤抽出(その1)（長沢徹・城代進）
 寒地はっかの栽培技術に関する調査研究
 (2)はっかの優良品種と耕種法（笠野秀雄・山内富士雄・古山三郎）
 フィネグリークの栽培（石原活磨）

第74号 1964.3

芳樟樹各部の精油組成について（印藤元一・池上典男・岩元薫）
 香料食品の研究 Vanilla Standard について（白石昌美）
 バニラエキストラクトの分析（田村禎造）
 香料ゼラニウムの新導入品種“P. graveolens”とその特性について（是沢儀明）
 香料合成化学（堀口博）
 松根油の溶剤抽出に関する研究(第2～第3報)（長沢徹・城代進）
 アサ その伝播、語源、成分（藤田安二）
 スミレ物語（石原活磨）
 南国の匂い（長沢徹）

第75号 1964.8

就任のことば（平泉貞吉）
 退任の辞（富樫芳治郎）
 モノテルペン化学の進歩（松浦多聞）
 香気及び香味(フレーバー)研究の最近の成果（Dr. Max Stall）
 最近のオキサイドの研究（吉田利男）
 香料合成化学(3)（堀口博）
 あるシソ油の鑑定資料（藤田安二・藤田真一）
 モクレン物語（石原活磨）
 昭和38年香料生産、輸出入実績表

第76号 1964.12

昆虫の毒（大野稔）
 輸入ケイヒについて（多田一郎）
 皮膚蛍光物質とプテリンについて（磯部暁）
 アサの成分の生成様式（藤田安二）
 セリ科植物に見出される二、三のセスキテルペンについて（前田実）
 精油成分の微量分析におけるクロマトグラフィの応用(第9報)ワニラフレーバーの分離検出法
 （林敬一郎・長坂政枝・小畑繁雄）
 “野草に親しむ会”に参加して（手島龍雄）
 香料の創作と茶道の精神（塙拙郎）

第77号 1965.3

香料化学の進歩と技術面より見た業界の現状（諸江辰男）
 食品の味とかおり（小幡弥太郎）
 においの保留性に関する実験的考察（伊藤昌明）
 香料の放射線照射と匂い（木下商策）
 日本の香料工業と芳樟の栽培（手島龍雄）
 ハッカ属の問題(その9)（藤田安二）
 香料合成化学(4)（堀口博）
 ジャスモンならびに関連化合物の研究（松井洸）

第78号 1965.6

日本香料協会の在り方（平泉貞吉）
 古代肉桂史論(その11)（藤田安二）
 トリクロロモノフロロメタンと香料 95%アルコール溶液中における絶対変化
 （岡村和夫・青山司朗・竹中利夫・南育造・竹中梅子）
 コーヒーの香味を科学する（山崎三吉）
 吸入生ワクチンに香料を加える試み（中村観善・荒木紀代子）
 近時におけるヨノンの研究動向について（国重勤）
 ジャスモンならびに関連化合物の研究(2)（松井洸）
 香料合成科学(5)（堀口博）
 フレーバーの周辺（田村禎造）

第79号 1965.10

日本のエアゾール産業（池谷大正）
 ハンガリーのラベンダー（後藤健三）
 食品香料はどのようにして創られるか（稲畑慶四郎）
 チョコレートの香味を科学する（山崎三吉）
 乳製品フレーバー最近の研究（小松昭）
 あくわ ころにえんしす(一オーデオコロン)（宮川靖夫）
 最近のテルペン類生合成の領域より（藤田安二）
 ムスク化合物の化学構造と香気の関係（増井啓二）
 香料合成化学(6)（堀口博）

第80号 1965.12

国際香料学校設立の紹介（平泉貞吉）
 バルセロナ香料博物館を観る（平泉貞吉）
 外遊雑感（林良四郎）
 有機化学構造研究における戦後20年 とくにIR.NMR.MS.（野崎一）
 嗅覚受容体の組織学、生理学とAmooreの嗅覚の立体化学説（永広堂本店研究部）
 香料の記録整理の一方法（行川義雄）
 食用色素アルミニウムレーキ（村井浩）
 ハッカ属の問題(その10)（藤田安二）
 第2回嗅覚と味覚に関するシンポジウム（小西正）
 香料合成化学(7)（堀口博）
 昭和39年(1月～12月)香料生産、輸出入実績